

三輪野江バイパス 開通見通しと 周辺の 交通安全対策

小林 昭子

(問) 三輪野江バイパスの工事が完了予定は。
 (答) 都市建設部長 用地買収も終わり、平成21年度に完了と県から聞いている。
 (問) バイパス出入口、川端地内交差点、現県道の大型徐行の対策は。
 (答) 都市建設部長 出入口、交差点部分は県・吉川警察と協議を行っているところです。現県道大型車徐行は今後交通量をみて協議します。
 (問) スマートIC開通の影響は。
 (答) 都市建設部長 三郷市内の県道「越谷・流山線」と常磐道側道の交差点に負荷が考えられる。今回の社会実験は周辺の影響を把握する意味もあり、今後影響がある場合は対応を考えてゆく。
 (問) バイパスへのアクセス道路として周辺生活道路の車量が増え、道の傷みも激しい。道路整備等行い安全対策を。
 (答) 都市建設部長 三輪神社より東への市道3-480号線は今年度舗装します。現地の場合を踏まえ補修工事等行い安全対策を計ってゆきます。

08年度市健康診査への声

(問) 保険料が上がって健診項目は減っていると驚きの声が上がっている。健診の充実を。
 (答) 市長 今年からの特定健診は生活習慣病を予防する事を目的として国基準が定められている。市は腎臓病・糖尿病予防を計るため国の基準を上回って実施している。

第2さつき園開設事業

(問) 開設に向け当事者参加は。
 (答) 健康福祉部長 養護学校PTA、手をつなぐ親の会、葎の里、フレンドパーク、さつき園の保護者、指導員と懇談等行ってきた。早期開設、送迎対応、一時預り要望が出されている。
 (答) 市長 現さつき園の事業に加え就労移行支援事業、余暇活動、社会参加を促進する地域活動支援センターとする。

市民の豊かさは 豊かなまちづくり 施策の推進により 得られます

齋藤 詔治

(問) 調整区域の開発を進めるため、都市計画法による区域指定、並びに既存集落地域内農用地の白地への見直し、長期的視野に立った農業振興策に農業振興地域内、集団農地の再整備場整備の実施へ。
 (答) 市長 区域指定の運用基準が厳しくなり、指定は白地内の限られた地域になります。
 (答) 市民生活部長 土地の特性または需要に応じて開発等も検討していかねばと考えています。

(問) 第四次吉川市総合振興計画基本構想の県や国に対する位置づけの有無は。
 (答) 都市建設部長 国や県に対して無く、市の考えです。
 (問) 操車場跡地の造成工事は、相当の余剰土を周辺開発の盛土に利用を。経済的・環境面・交通渋滞の緩和等、大きなメリットが得られるか。
 (答) 市長 鉄道運輸機構は原則地内で土砂を流用すると聞いており現段階ではいかがか。
 (問) 新駅の高架化を願っているが、難しいならば予定駅の二面三線を二面四線に変更は。
 (答) 市長 当市が駅用地を確保することやJR東日本と協議が整っていることから無理。
 (問) 新駅周辺開発は組合施工による区画整理事業との説明だが、民間の技術的能力や資金等の有効活用による「区画整理会社方式」により市の財政負担が伴わない方式での実施の検討を。
 (答) 市長 地権者の合意形成を図る中で研究していきます。
 (問) 本年9月に吉川市開発公社が取得した吉川新駅前(野



吉川ネギ



南部正副議長会 議員研修会

10月30日、三郷市・八潮市・松伏町と吉川市の議員合同の南部正副議長会議員研修会が会長市である吉川市の中央公民館で開催され、吉川市議会からは16人の議員が出席しました。市議会議員共済会の職員を講師に、議員年金制度についての講演が行われました。

球場) 2万8千249㎡(8千545坪)敷地の一部に暫定駅前交通広場3千㎡(900坪)の計画は、将来を展望し1万㎡(3千坪)程確保し、新駅開業に合わせた駅前整備が財政的に無駄がなく今後のメリットが大きいが。
 (答) 市長 周辺開発の区画整理事業の中で実施していく。